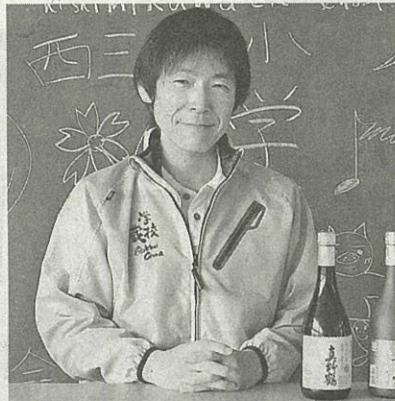


賞

日本酒「西東京」で故郷応援



西東京市出身で「尾畑酒造」社長の平島さん

平島さん 佐渡島で醸造

同組合の組合長・山崎明さん(53)によると、3〜4年前から「西東京」を盛り上げるため市ゆかりの酒をつくりたい」と考え、市に関連のある酒蔵や杜氏を探していたという。苦戦していたところ、昨夏に佐渡島の「尾畑酒造」5代目社

「地元の力になりたい」

西東京市出身で佐渡島(新潟県佐渡市)の酒造会社社長・平島健さん(54)が醸造した日本酒「西東京」が、今月から市内28か所の酒店で順次販売されている。地元を盛り上げたいという西東京市小売酒販組合の依頼を受けて快諾したといい、「故郷の力になりたかった。同級生が手に取ってくれたらうれしい」と話している。



日本酒「西東京」を紹介する山崎さん(右)ら(24日、西東京市で)

長の平島さんが旧保谷市(現西東京市)出身と判明。醸造の話を持ちかけたという。平島さんは、小学校卒業まで旧保谷市で育ち、大学卒業後は都内の出版社に就職。結婚を機に妻の実家だった尾畑酒造に入社し、2008年から社長を務めている。佐渡島では廃校を仕込み蔵として再生するなど地域活性化に取り組んでおり、今回の依頼も「西東京は大切な故郷。少しでも力になりたい」と快く応じた。

平島さんは「お酒を通じて佐渡島と西東京がつながり、佐渡にも興味を持ってもらえたらうれしい」と話している。「西東京」は精米歩合65%の純米酒。やや辛口でほのかなコクとうまみを感じられ、酸味も程良く和食全般に合うという。ラベルは西東京市在住の切り絵作家・小出菟さんが作成。高さ195センチの電波塔「スカイタワー西東京」、先進的なプラネタリウムで知られる「多摩六都科学館」、市の木である「ハナミズキ」など市の名所や名物を切り絵で表現している。

山崎さんは「市民に愛されるのはもちろん、お土産として多くの人に西東京市を知ってもらうきっかけとなれば」と期待している。

720㊞・び入りは1350円(税込)、1・8び入りは2700円(同)。問い合わせは、田無地区酒販協同組合(042-460-3288)。

